

長野市産業団地事業経営戦略(令和3年度～令和12年度)

令和5年度の進捗状況

令和6年10月

経済産業振興部企業立地課

1 経営目標達成に向けた令和5年度の主な取組状況

長野市産業団地事業経営戦略では、事業の持続可能な運営のため、産業団地事業の将来的な在り方を展望し、「投資」と「財政」の両面の経営目標を定めています。その経営目標達成に向けた令和5年度に実施した主な取組は以下のとおりです。

(1) 売却目標

目標	<p>①貸付特約付土地：計画期間中に期間満了となる2区画は、満期をもって売却します。</p> <p>②未分譲区画：地価変動に伴う経営悪化が与える財政リスクに注意しつつ、適切な管理をし、売却できるものについては、早期に売却を目指します。</p>
主な取組状況	<p>①貸付特約付土地については、令和4年4月に全区画が売却済みとなりました。</p> <p>②未分譲区画は、若里産業用地1区画です。地価変動に伴う経営悪化が与える財政リスクに注意しつつ、売却に向け検討を継続しながら、適切な管理に努めます。</p>

(2) 収支目標

目標	経常収支比率100%以上の継続と売却損失の抑制
主な取組状況	<p>令和5年度の経常収支比率は、193.0%でした。</p> <p>また、令和5年度において用地売却はありませんでした。</p>

2 財政収支・経営指標の状況

(1) 財政収支

(単位 千円)

項目	R5	
	計画	実績
収益的収入	31,800	32,143
収益的支出	29,900	16,659
経常損益	1,900	15,484
資本的収入	37,000	0
他会計借入金	37,000	0
資本的支出	147,658	109,079
建設改良費	147,658	109,079
他会計借入償還金	0	0

(2) 経営指標の状況

指標	R3	R4	R5
経常収支比率	128.2%	133.1%	193.0%
資金不足比率	-42.36%	-47.01%	-47.14%

経営の健全性を示す経常収支比率は 193.0%となり、健全経営の水準とされる 100%を大きく上回っています。

また、事業規模に対する資金の不足額の度合いを示す資金不足比率は、-47.14%となり、経営状況が良好であることを示す負の値となっています。

引き続き、地価変動に伴う経営悪化が与える財政リスク等に注意しつつ、適切な管理に努めます。